

授業概要

中等教育の社会科・地歴科の内容、課題を理解し、教員としての基礎的教育能力を養い、資質を高めることを目的とする。各受講者の模擬授業を中心とした講義を行う。学習指導案を作成し、模擬授業実践、受講者間での全体討議を行う。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：社会科・地歴科教育教員を志すにあたり留意すべきことの概説
第 2 回	高等学校地歴科の内容とその取り扱い
第 3 回	高校地歴科教科書の分析
第 4 回	模擬授業実施にあたり諸注意
第 5 回	学習指導案の作成と検討①：年間学習計画と学習指導案とは
第 6 回	学習指導案の作成と検討②：授業指導案の書き方
第 7 回	情報機器を使っでの授業の進め方
第 8 回	模擬授業の実施①（模擬授業および全体討議・講評）日本地誌編
第 9 回	模擬授業の実施②（模擬授業および全体討議・講評）世界地誌編
第 10 回	模擬授業の実施③（模擬授業および全体討議・講評）世界史古代・中世編
第 11 回	模擬授業の実施④（模擬授業および全体討議・講評）世界史近現代編
第 12 回	模擬授業の実施⑤（模擬授業および全体討議・講評）日本史古代・中世編
第 13 回	模擬授業の実施⑥（模擬授業および全体討議・講評）日本史近現代編
第 14 回	模擬授業の実施⑦（模擬授業および全体討議・講評）複合的内容編
第 15 回	授業のあり方と評価
第 16 回	定期試験

到達目標

学習指導案を作成し、模擬授業を通し、教育技術の向上、教科指導の問題意識の涵養、評価方法の習得をめざす。全体討議を通し相互に資質の向上を図る。

履修上の注意

模擬授業を行うことが単位修得の必須事項となる。模擬授業の前週に、完成させた指導案をもとに講義とは別に個別指導をおこなう。

予習・復習

模擬授業のための授業指導案の作成は、内容の検討把握をおこなった後、十分に検討を重ねるようにする。各自模擬授業を行う以前に、あらかじめ時間を図りながらシミュレーションを行う。模擬授業終了後、総括討議を踏まえ、自己の課題をまとめておく。

評価方法

試験(40%)、模擬授業(40%)、全体討議作業課題(20%)などを総合的に評価する。

テキスト

文部科学省『高等学校学習指導要領解説 地理歴史編』 『高等学校学習指導要領』(平成 30 年告示版)
 文部科学省『中学校学習指導要領解説 社会編』 『中学校学習指導要領』
 各人が高校のときに使用した文部科学省検定済みの高等学校世界史 B・日本史 B 教科書。